

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目6番13号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	平成28年2月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いこいの広場の理念・「ゆっくりと楽しく過ごして頂く」・「明るい笑顔の中での笑顔に共感」・「家族や地域交流を大切にする」を大切にしながら、入居者の皆様と共に毎日を生活しています。一緒に調理をしたり掃除をしたり、のんびりと一緒にお茶を飲んだり、理念にもあるように「ゆっくりと楽しく過ごす」事を頭に入れながら日々支援しています。いこいの広場が、現在の場所に移転してから2年経過します。明るく開放的なリビングと、目の前に広がる雄大な桜島を毎日見ながら生活しています。また近所にスーパーや農協、慈眼寺公園、考古歴史館など様々な施設があり、ドライブや季節の行事などを皆様と一緒に楽しんでいます。これから先も様々な事に挑戦し毎日を楽しく過ごして行きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、周辺に銀行やスーパーマーケット・ふるさと考古歴史館・慈眼寺公園等があり、散歩や買い物の際には挨拶や会話を楽しめる環境である。
- ・町内会に加入し、地域の諸行事に参加するなど、地域交流を積極的に進めて、認知症の相談を受けたり助言などを行っている。
- ・災害対策として定期的な訓練と安全対策の整備がされ、運営推進会議を兼ねての避難訓練では地域住民も参加し、協力体制もできている。
- ・管理者は職員とコミュニケーションを図り、職員は理念に沿ったケアの実践に取り組み、みんなで楽しく生活できるホームを目指し、アットホームな事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念「ゆっくりと楽しく過ごしていただく」「明るい笑顔の中での笑顔に共感」「家族や地域交流を大切にする」を念頭にスタッフ全員が取り組んでいる	理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝仕事開始前に唱和し、職員会議などの機会に確認し、ケアに繋がるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近隣の方が野菜など差し入れに来てくれたり、気軽に挨拶をしてくれたりと普段から交流している	町内会に入り地域の行事や会合・夏祭り・清掃作業などに、積極的に参加して地域の人達との交流をしている。近所から野菜の差し入れ等がある。子供達が学校の帰りに立ち寄って遊んで帰ったりしている。町内会の会合などで認知症の相談を受けたり、事業所の行事に地域住民の参加がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会の話し合いに参加したり運営推進会議の場などで、いこいでの事例を発表したりと地域の方々に理解していただける様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議中は意見や助言など頂いたり、報告を行い、サービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に定期的開催している。事業所の活動・状況報告や外部評価の報告等をしている。消防署の参加時は運営推進会議前に災害訓練を行い、避難訓練に参加し、意見やアドバイスを貰ってサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎年介護相談員に来ていただいている。また運営推進会議時には高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）の職員に参加して頂いている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出向き、利用者の相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。市主催の研修会にも積極的に参加し、年1回介護相談員の受け入れも行っている。地域包括支援センター担当者とは運営推進会議を通じて協力関係ができている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の具体的な行為をスタッフ全員が理解し取り組んでいる。また日中は玄関を施錠せずに常に開放している。</p>	<p>事業所の玄関に「身体拘束廃止宣言」の掲示がある。身体拘束委員会があり、年1回委員会を開催し、身体拘束の事例を出して研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。玄関の施錠は昼間はせずに職員間の連携で自由に利用者が出入りできるように安全な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	研修や学習会に参加し学習の機会を設けている。虐待を起こさない様に注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	いつでも支援が出来る様に、制度について学習している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居者様、ご家族様に十分な説明を行い、ご理解を頂いた上で契約を行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議など通して入居者様やご家族様が意見や要望を表せる機会を設け反映させている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、希望することや好きなことを支援している。掃除の好きな利用者もいる。家族からは面会時や運営推進会議・行事参加時に意見を聞いたり、月1回は便りや写真・状況報告を送付し、お礼の電話が来たりする。その時に意見を聞いたりしている。家族の要望で掃除の手伝いや牛乳・ヨーグルトを食事に取り入れるなど意見を反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議などを通し意見や運営に対しての提案を聞いている。また普段から話がしやすい環境がある。</p>	<p>管理者は、会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。職員の資格取得の奨励を行っている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。管理者は日常的にコミュニケーションを取り、各自目標を持って働きやすい職場をめざしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は個々の能力など把握しスタッフが働きやすく、目標を持って取り組めるような環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフ一人ひとりの能力に応じた研修を受けられる様に取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会などスタッフが交代で参加し同業者と交流し意見交換等行いお互いの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居された初期の段階は特に安心されるような声をかけていき本人と信頼関係が築けるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の不安な事や困っていることを十分に傾聴し、信頼関係が築けるように取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族様に話を伺いながら優先的に必要なサービスを見極め提供し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様から気軽に声をかけて頂ける様な環境を作り、日々の生活を送れるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	共に本人を支えていけるように面会時など本人の思いや要望など伝え、ご家族さまと一緒に支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力も得ながら外出したりお墓参りに出掛けたりと馴染みの場所との関係が続くように支援している。	友人や親戚の人達が面会に来て部屋でお茶を飲みながら会話をしている。家族の協力で、今まで買い物をしていた店や美容室・墓参りに出かけている。外出希望があった場合、職員と出かけている。電話や手紙の取次ぎなども行い、継続的關係が途切れないよう働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を把握し、孤立する入居者様がないように職員が間に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談に応じたり、こちらから連絡したりと退所後もフォローし支援を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様から話を伺ったり、ご家族面会時などに話を聞き把握に努めている。訴えの困難な方には本人の立場に立ち支援している。	日々の関わりの中で希望を聞いたり言葉や表情から意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、しぐさや声かけして反応を伺ってみたり、家族や友人からの情報を得、職員間で話し合い本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴や生活環境など入所時にしっかりと話を伺い、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や申し送りなどを通して一人ひとりの心身状態の把握に努め支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族、また関係各所の意見や助言を交えながら本人に一番即した介護計画が作成できるように取り組んでいる。	本人や家族・必要な関係者と話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとり個人記録があるのでそれに日々の様子を記録している。またそれは介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて様々なニーズに対応出来る様に臨機応変に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加・見学したり消防避難訓練にも参加して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人とご家族に納得していただいている。またかかりつけ医との信頼関係は築き支援を行なっている。	受診は、本人や家族の希望するかかりつけ医と事業所の関係を築きながら支援している。協力医療機関の訪問診療や看護師による薬の管理、健康観察もできている。家族に必ず報告をしている。24時間医療連携体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>いつもと違う事や気になった事はすぐに相談している。また適切な受診が受けられるように取り組み支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご家族・病院関係者との話し合いや情報交換を行い、早期の退院に向けて取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族と話をし終末期の方針の同意を得、ご家族や関係各所とチームとして支援している。</p>	<p>マニュアルや指針があり、家族に契約時に終末期のことを説明して同意を貰っている。早い段階から説明をして、終末期の進行とともに段階的に説明している。看護師がいるので看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護師の指導のもと定期的に初期対応の訓練を行い、もしもの時の為に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いのもとに消防避難訓練を行なっている。またその際、他災害からの避難方法など消防署員から助言指導を頂いている。</p>	<p>年2回消防署指導のもと、昼夜想定避難訓練を実施している。運営推進会議のメンバーの参加もあり、訓練後に運営推進会議を実施し、助言など活かしている。緊急時の自動通報装置も定期的に点検している。緊急連絡網に町内会長も登録するなど地域とも協力関係が築かれている。災害時の水や米・インスタント物・カップ麺など備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	決して本人の人格を否定する事や自尊心を傷つける事が無い様に言葉かけに気を付け支援している。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。トイレ介助や入浴時は、言葉かけに配慮して、羞恥心の保護や自尊心を傷つけないように支援している。入室時等も配慮している。トイレに間に合わなかったときなどすみやかに周りに気づかれないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定出来る様な声かけを行いつつ、また意思表示が困難な入居者様には表情の変化を見逃さない様に気を付け支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく本人の希望に沿って過ごして頂ける様に本人のペースに合わせ支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	常に身だしなみやおしゃれが出来るように乳液や化粧水など使用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材などスタッフと一緒に包丁を使用し切り分けたり、お膳の準備・片付け等行い、楽しい食卓になるように支援している。</p>	<p>菜園の野菜を使ったり、旬の食材で、利用者の希望に添った献立を工夫している。利用者個々の力を活かし、準備や片づけを職員と一緒にやっている。季節ごとの団子作りや筍の皮むきなどもしている。誕生会や季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養のバランスなどかかりつけの病院の栄養士に相談し助言を頂き支援している。</p>	/	
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時・毎食後・就寝前など口腔ケアを行なっている。また入居者様の状況により一部介助など行い支援している。</p>	/	
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>トイレでの排泄を目標に、一人ひとりのタイミングに合わせ声をかけ支援をしている。また失敗しても自尊心を傷つけないように声をかけている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮しながら、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間ポータブルトイレ利用者もいる。水分調節や乳製品などで食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食材を使用したり毎日の運動や水分摂取を促し行ない予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴を行なえるように体制を整えている。また一人ひとりゆっくりと入浴できるように支援している。	週3回の入浴を基本にしているが希望や体調に合わせて柔軟に対応している。個浴になっているので、ゆっくりリラックスして入れるように言葉かけや外との温度差がないようにしている。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息など声をかけて休んで頂いたり、また特に就寝前は騒音や雑音が無い様に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬している薬の把握がしやすいように一人ひとりにファイルを作成しすぐに確認できるように努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や掃除、洗濯物たたみ等それぞれに得意な入居者様がいたので役割を持って頂き支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近隣への散歩や買い物に出掛けている。また遠方への外出は入居者様のご家族の協力を得ながら支援している。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や買い物・近くの公園に車椅子で出かけている。近所のスーパーマーケットへ買い物を職員と行くときもある。計画を立てて、ドライブやミカン狩りなどに出かけたり、家族の協力を得ながら外出や外食・墓参にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>高額ではないが1000円程度のお小遣いを管理し、買い物の時などに使用できるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話機の子機を準備しいつでも連絡が出来るようにしている。また手紙などすぐに書けるように準備している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>快適に居心地よく過ごして頂ける様に明かりや温湿度に気をつけている。また近所から頂いた野菜など利用し季節の話や調理方法など伺いながら支援している。</p>	<p>共用空間は広い窓から桜島を眺め、換気や採光に配慮し清潔である。壁には季節を大事にした飾りつけや行事の写真等が貼付してある。ソファが置かれ、テレビやレクリエーションが楽しく過ごせる開放的なホールとなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間では利用者の皆様が自由に行き来し過ごして頂ける様に、ソファやテーブルを設置し過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全てではないが、ご家族と相談しながら本人の馴染みのある物を置いて生活をして頂いている。</p>	<p>居室の窓は掃出し窓になっており、災害時は、すぐ外にできる。ベッドは備え付けである。寝具類やテレビ・タンス・位牌・家族写真・自宅で使用していた小物など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の手すりやトイレ・浴室の案内表示などなるべくご自分で行かれるようにしている。また声かけや付き添いながら自立出来るように支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない